

★入会案内

どなたでも入会できます。

一 年会会費 九〇〇〇円

学部学生（証明が必要）は六〇〇〇円

二 入会申し込み

氏名・住所・勤務先（学生は大学名）をお知らせください。

手続き

①入会申込書による申し込み

②学会事務局へのメール・電話・ファックス

・葉書による直接申し込み



日本国語教育学会 事務局

〒112-0003 東京都文京区春日
2-14-10-103

TEL 03-6801-5951

FAX 03-6801-5952

URL: <http://nikkokug.org/>

Mail: kokugokyouiku@nifty.com

★学会誌 『月刊 国語教育研究』



● 大事な情報・ホットな話題を提供します。

● 研究者と実践者との課題を追究します。

● 研究や授業の取り組みのヒントがあります。

● 会員のみに配布します。

★二〇三三年度 月別特集テーマ

- 四月 「学びたい」に込める国語単元学習
- 五月 国語科「年間学習指導計画」の改善
- 六月 個別最適な学びと協働的な学び
- 七月 「戦争と平和」を考える国語単元学習
- 八月 言語文化を楽しむ
- 九月 言葉の学びを育てる「遊び」
- 十月 日本国語教育学会 西日本集会
- 十一月 日本国語教育学会 国語教育全国大会
- 十二月 国語単元学習と情報端末の生かし方
- 一月 「見えない学び」をどう捉え、どう評価するか
- 二月 語感覚の育成と語彙指導
- 三月 サブカルチャーに挑戦する国語単元学習

日本国語教育学会

—一九五四年創設—

六十九年の歴史に支えられて、ともに学び合い

新しい時代をひらきます。

幼保から小・中・高・大学までの

国語教育について考えます。

会長 桑原 隆 理事長 甲斐雄一郎

豊かな言葉が、豊かな知性を育む。
豊かな言葉が、豊かな文化を産む。
豊かな言葉が、豊かな未来を望む。

学会はともに学ぶ会です。明日の国語教育について互いに学び合いましょう。

令和5年度

★**本学会の歩み**

【**学会結成**】

「日本国語教育学会」は、昭和二十九年に結成された。昭和四十五年国語教育研究団体の統合が問題となり、日本国語教育学会が中心となつて、昭和四十五年七月二十五日設立された新学会が、現在の日本国語教育学会である。

初代会長は旧「日本国語教育学会」会長の西尾実。昭和五十一年三月三十一日、倉澤栄吉が第二代会長に選出された。その後、平成二十三年度に第三代会長に湊吉正、平成二十八年年度に第四代会長に田近洵一、令和二年度に第五代会長に桑原隆が選出され、現在に至っている。

【**組織**】

現在の会員数は二八〇〇名を超える。全国の研究者・実践家で構成されており、理事一八一名が運営に当たっている。

支部研究会（十一支部）

・岩手・秋田・山形・茨城・千葉・新潟・富山・山梨・岐阜・熊本・沖縄

地区研究集会十七地区

・岩手・福島・茨城・栃木・埼玉（浦和）・埼玉（熊谷）・千葉・神奈川（川崎）・神奈川（横浜）・山梨・長野・岐阜・愛知・静岡・島根・和歌山・桐陰

★★**会報**★★

企画・情報部年一回発行（学会誌綴込み）

学会の運営や各地の活動の情報等を提供

★★**ホームページ**

研究会案内等を常時発信

★**公開研究会**

研究部：国語教育の基本的なあり方を理論と

実践の両方から追究

幼保部会：たのしいことは体験の開発

子どもの心を育てる保育・教育

小学校部会：豊かな言葉の学びをひろく

国語単元学習の追究

中学校部会：中学校で育てる国語力とは何か

単元学習の創造

高等学校部会：高校国語の多様な可能性を

個性的な教育実践を通して追究

大学部会：幼保から社会人まで、言葉に関する

今日的課題を追究

企画・情報部：国語授業力アップへの

実践セミナー

★**国語教育全国大会**

令和五年八月十日（木）

十一日（金・山の日に）

会場 筑波大学附属小学校

一日目

基調提案

授業

研究協議会

展望

二日目

校種別分科会

テーマ別分科会

大学シンポジウム

幼稚園・保育所部会講演会

単元学習実践研究発表



★**西日本集会**

令和五年六月十七日（土）

開催地 沖縄

（沖縄産業支援センター）

内容

シンポジウムⅠ

シンポジウムⅡ

講演Ⅰ

講演Ⅱ



入会申込書

学会の趣旨に賛成し入会いたします。

年 月 日

(ふりがな)

氏名

・郵便番号 ()

・住所

・電話 ()

・Eメール

・勤務先

・電話 ()

・通信欄

・紹介者 ()

※紹介者はなくともかまいません

メール・電話・fax・葉書のいずれかで申し込んでください

刊行

『シリーズ国語授業づくり』

高校：『新科目編成とこれからの授業づくり』

中学校：『文学』『古典』『説明文・論説文』『国語授業づくりの基礎・基本』

小学校：『ノート指導』『読解』『作文』『話す・聞く』『交流』『板書』

『単元を貫く学習課題と言語活動』『読書』『音読・朗読』『発問』

幼稚園・保育園：『0～6歳児「言葉

を育てる」保育』

を育てる』保育』